



いつつし自治会報 486号  
2019年(令和元年)5月号



### 変革の中で住民自治への確立と推進

いつつし自治会会長：蟹野 正男

今年に変革と改革の年となりました。天皇家の代替わり「平成から令和へ」、南砺市では住民中心の課題解決型小規模多機能自治への移行へと。

少子高齢化による人口減少、商店街のシャッター化と共に、住民減少による町内会の役員の担い手不足等、多くの問題点が指摘されています。これらの問題を解決するには時間と人材、労力、知恵が必要な昨今であります。町内会長だけ、地区社協の役員だけに任せるのではなく、住民の皆さんの英知を集めて解決に導くのが小規模多機能自治の目的であります。

本年4月1日(月)より発足いたしました「いつつし自治会」は福光自治振興会、福光地区社会福祉協議会、福光公民館の機能を集結し、各部門を5部会制とし各部会ごとに問題を話し合い、時には全部会を交えた課題解決に向けた行動を行える組織に改正いたしました。

これまでの各組織に対し暖かいご支援とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。名前や組織は変わりますが、各組織がこれまで培ってまいりましたノウハウを共有し、「福光に住んで良かった。」「福光に来て良かった。」と言っていただける街づくりと南砺市の中核組織に発展するために、皆さま方のお知恵と英知を賜りますようお願い申し上げます。



### いつつし自治会がスタート

交流センター事務局長：出村 孝志

4月1日(月)、前日迄強風、雨、さらにあられが降る天候でしたが、「福光交流センター」と「いつつし自治会」の除幕式を行う朝8時から終了の11時まで太陽が出るお天気になりました。来賓の武田慎一県議会議員、水口秀治市議会議員、彫刻家の加藤正二氏と、町内会長、いつつし自治会の役員列席のもと、無事に除幕式を行う事ができました。建物は変わらず、事業も当面昨年の事業を継続していきますが、事業の形態が、総務部会・福祉部会・生涯学習部会・安全部会・教育青少年部会の5つの部会に分かれ、町内から推薦された部会員の方々に、町内の課題・問題点を基に事業の見直しを行い事業を立て直すようにして行くことになっています。

高齢者の問題は福祉部会に、サークル活動は生涯学習部会に、防犯・交通は安全部会に、子供たちは教育青少年部会に、その他諸々のことは総務部会(町内会長)で検討・対策していきます。町内の身近な人にどしどし提案して改革・暮らしやすい福光を目指して行きましょう。

交流センターの事務局は現時点3名ですが、部会の活動を積極的にサポートしていきます。皆で頑張りましょう。

## 平成30年度 福光自治振興会大会 70余年の福光自治振興会に幕、新たな旅立ち「いつつし自治会」

平成30年度福光自治振興会大会は、3月23日(土)福光公民館一階ホールで開催されました。

蟹野会長は挨拶で「70余年続いた福光自治振興会の名を閉じることは断腸の思いではありますが、少子高齢化に伴う人口減による人材不足により自治会活動に支障をきたす町内会も存在するようになりました。もっと幅広い視野での自治会活動に向けて脱皮し、新たな枠組みの中で新風を吹き込むために、これからも皆さまのご協力をお願いしたい。」と述べられました。続いて、今回退任された12名の町内会長さん、長きに亘り振興会事務・会計を担当していただいた山田幸男・桶谷祐介両氏に、



会長より表彰状と記念品が贈られました。

議長に一前悦郎神田町町内会長を選任し、30年度の行事・決算を審議承認後、蟹野会長から、平成31年3月31日(日)をもって福光自治振興会を解散し、平成31年4月1日(月)より「いつつし自治会」に移行することに同意承認を求める動議を提出、採決され、「いつつし自治会」への移行が決定しました。

永年に亘り福光自治振興会にご理解とご協力いただきました皆さまに、厚く御礼申し上げます。

# ◆「いつついし」のいわれ

この福光地方は、奈良時代・平安時代初期まで、豪族利波臣志留志（となみのおみしるし）とその一族によって治められており、「石黒の庄」と言われていました。石黒の姓を名乗るようになるのは、俱利伽羅峠の源平合戦で有名な福光城主、石黒太郎光弘から二代前の権太夫光久の代からで、この光久そ

して光久の妻女は共に加賀国豪族の林氏から迎えていました。この林氏の家紋が「石畳紋(いつついし)」であったことから、石黒氏が家紋にしたと考えられています。

このことにより、福光城（栖霞園）のある地域を「いつついし」の地域として表しており、広報誌に「いつついし」も使われています。

## いつついし自治会の看板について

福光公民館は4月1日（月）から「福光交流センター」の名称になりました。この看板は南砺市の方で作成され、建物の正面中央の柱に取り付けました。

一方、18町内で構成する福光自治振興会は、福光地区を少子高齢化の現状の課題解決をなすべく平成以降の大改革を意識し「いつついし自治会」と名称を変更して活動することになりました。

そのため、松井製材さんより樺の木板を寄贈していただき、檜G氏（本名 加藤正二）には“いつついしの紋”を彫刻していただき、書家の石井駿氏に“いつついし自治会”を書いていただきました。そ

して、玄関協の福光公民館の表示されている場所に並べて、掲示いたしました。これも、地域の協力があって実現したことであり、交流センターの活動に一役かっているものと思います。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



## 2019年度 新町内会長 No.2

- ①町内人口 ②今年一年の抱負 ③趣味 ④好きなTV番組 ⑤最近感銘を受けた本 ⑥好きな色

### 【中荒町】川合 雅英 (59歳)

- ① 32人
- ② 町内会については、小規模町内会の存続に努める。個人的には健康第一。
- ③ サイクリング
- ④ ・ガイアの夜明け  
・がっちりマンデー
- ⑤ 特になし
- ⑥ 青色



### 【味噌屋町】武田 俊彦 (76歳)

- ① 33人
- ② 高齢者世帯・一人世帯が多いので、安全安心をモットーに！
- ③ 旅行
- ④ ・笑点  
・そこまで言って委員会
- ⑤ なし
- ⑥ 紺色



お詫びをして訂正いたします

4月号で案内しました宮脇町町内会長の名前が間違っていました。

(誤) 片山寛明 ⇨ (正) 片村寛明

### 交通安全協会 福光地区支部からのお知らせ

## 春の交通安全運動

5月20日(月)は「交通事故死亡ゼロを目指す日」です。

- ◆期 間 5月11日(土)～5月20日(月)
- ◆スローガン みんなで確認！ 守ってね。交通ルール。
- ◆運 動 重 点

- 1 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶

## 福光地区社会福祉協議会総会開催される

平成31年3月16日(土)午後6時より、福光公民館で福光地区社協の総会が開催されました。

この総会は4月より小規模多機能自治に統一される為、地区社協の解散総会となり地区社協として最後の開催となりました。

総会には地区社協理事、町内会長、民生委員、地域福祉推進員の方々に出席を頂きました。蟹野会長あいさつの後、来賓の武田県議と水口市議より祝辞をうけました。前、本町町内会長の中川氏の議長で議事が進行され、30年度事業報告・収支決算報告・会計監査報告の後、質疑応答があり全て承認されました。

その後、地区社協解散の提案があり、地区社協の財産処分についても、4月1日(月)から新たに結成される「いつついし自治会」に移管される事が決定されました。

今後は、これまで地区社協で取り組んでいた

活動が、主に「いつついし自治会」の福祉部会で継承されることとなっています。



### 福社会館周辺まちづくり協議会活動

## 第8回まちづくり談議開催

平成30年度最後のまちづくり談議は、西太美地区の西太美支援隊長 山崎 彰氏を迎え「どうする福祉の西太美」と題し、平成16年から地域の福祉について、どのように取り組んできたかを講演していただきました。福光地区と西太美では環境が全く異なります。その中で、どのように取り組むかは、取り組みの手法が異なることは当たり前のことだと思います。しかし、「助けてもらわないと生きていけない。」との発信、これを受け止めて「取り組んでいかなければならないとの思い」をもち、皆で“どうする”を考え、対策を考えていく事は同じだと思います。西太美の活動は、北日本新聞に出ているのをよく見ます。これも、施策として実行されています。道端の草刈りや溝の掃除も新聞報道で知り、他地区の方も多数応援に来ておられるそうです。

4月1日(月)から福光地区は、「いつついし自治会」として、地域の課題を福祉、生涯学習、安全、

教育青少年部会として課題を捉え、解決に向けて取り組む必要があると感じさせられた講演でした。

(公民館のホームページ参照ください)



公演中の  
山崎 彰氏



# 平成30年度 福光公民館として最後の運営委員会開催

3月29日(金)午後7時から、公民館運営委員16名(内3名委任状)に出席していただき、平成30年度の事業結果と収支決算及び監査報告を審議する総会を開催しました。

蟹野顧問によると、昭和30年初代館長 武田吉三郎さんから始まり64年間、出村孝志現館長が15代目になるそうです。顧問挨拶の後、土居運営委員長の議事進行でスムーズに審議されました。

平成30年度の利用状況をまとめると、利用人数13,681人で前年度より1,462人減りました。活動団体が減ったことも影響しています。鶴友会の各クラブが活発に活動されていますが、もう少し子供たちに利用してもらえればと思っています。

福光交流センターになっても、現状維持していきけるように努力していきますので、今後ともどうかよろしくをお願いします。

## 福光中部小学校が 文部科学大臣表彰を受賞

3月7日(木)、『優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰式』が行われ、中部小学校が受賞されました。

受賞理由は、学校とPTAが連携・協力して、アウトメディアに取り組んでいる事と、子供たちの健康についてアンケートを行い、健康作りへの意識付けをしている事です。今後も、子供たちが心身共に健康に成長していけるように取り組んでいきたいと考えています。

※アウトメディアとは、情報機器(テレビ、パソコンなど)を使わないで学習すること。



## 2019年度 福光交流センター 第1回 花の講座受講生募集

- ◎日 時 5月18日(土) 午後2時~3時
- ◎内 容 寄せ植え
- ◎参加費 2,500円 当日集金 (内500円は補助します。)
- ◎場 所 福光交流センター 玄関ポーチ
- ※申込み締切 5月8日(水)

申込用紙は福光交流センターにあります！  
福光交流センター 電話・FAX 52-4684  
(いつついし自治会 生涯学習部会)

### 四月詠草

(福光短歌会)

植糸し母逝きて五十年経し杉の 枝葉に鉄入れるは辛し  
 工事中迂回路示すその先は 平坦にして我が散歩道  
 姉の友等旅行に行くに姉は早 黄泉の世界へ旅立ちて三年  
 幽かにも草の匂ひの漂ひて 風暖かく春の立つ朝  
 壇上で別れを歌ふ子等の顔 六年前の面影捜す  
 木の幹の中まで朽ちし梅の木に 今年も咲けり白梅の花

(福光俳句会)

野良人に道問ふ川辺猫柳  
 大宰府の梅を一瞥せしと孫  
 魁けて河津桜の咲く旧家  
 肘張つてベダルこぐ畦春疾風  
 利休忌の近づく空の色晴れず  
 蓮如忌や経読む人の無心なる  
 湯婦りの端山に浮ぶ臈月  
 班雪雲居に紛ふ浅間山

山下	安田	堀	名村	中山	尾崎	梅島	駒形	宮岸	桃野	宮崎	竹本	斉藤	山崎
喜就	富子	恵	五月	朝	いつ子	にを	隼男	昇	瑞恵	平作	幸子	よしえ	芳子

## 福光地区 5月行事のお知らせ

- 5/1(水) 天皇陛下即位の日 『令和』元年
- 4/29(月)~5/6(月) 福光交流センター休館
- 5/8(水) 第2回上映会 午後1時30分より
- 5/14(火) 福寿大学 富山市探訪 午前9時より
- 5/17(金) 第2回そくさい会 午後1時30分より
- 5/18(土) 第1回花の講座 午後2時より
- 5/23(木) 町内会長会 午後7時より
- 5/26(日) シルバースポーツ大会
- 5/29(水) チャレンジデー
- 5/29(水)~5/31(金) レントゲン検診 午後1時30分から3時30分